

## 探究・志 生き方探究プロジェクト

## ～自分の未来を見つめる～

本単元で育成する資質・能力

課題発見力, 自ら行動する力, 他と関わる力

## ◇ 日時及び学年・組

|                   |        |                         |
|-------------------|--------|-------------------------|
| 令和3年11月15日(月) 2校時 | 第2学年1組 | (男子 19名, 女子 16名, 計 35名) |
| 令和3年11月15日(月) 4校時 | 第2学年2組 | (男子 19名, 女子 17名, 計 36名) |
| 令和3年11月16日(火) 2校時 | 第2学年3組 | (男子 20名, 女子 17名, 計 37名) |
| 令和3年11月16日(火) 5校時 | 第2学年4組 | (男子 19名, 女子 16名, 計 35名) |
| 令和3年11月18日(木) 2校時 | 第2学年5組 | (男子 19名, 女子 17名, 計 36名) |
| 令和3年11月18日(木) 4校時 | 第2学年6組 | (男子 19名, 女子 20名, 計 39名) |

## 単元について

## ◇単元観




本単元は、本校の総合的な学習の時間の2本柱のうち「探究・志」に位置するもので、「生き方探究プロジェクト」としてこれからの人生をどのように歩んでいくか、自分自身の現時点での行動目標を設定するというものである。この「探究・志」では、第1学年において「職場探訪プロジェクト」として様々な仕事について学び、第2学年を経て、第3学年では具体的な進路実現のために視野を広げ卒業時には自分の志（こころざし）を語れるようになることを目指している。

本校では、総合的な学習の時間を「10年後も住みたい府中町であり続けるには」という3年間を通じた「本質的な問い」を設定し、「探究・志」では10年後府中町に貢献できるようになるための学びを進めている。毎年第2学年で職場体験学習を行っているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、中止となってしまった。そこで、働くことを表面的な意味だけでとらえるのではなく「生きていくこと」として捉え、急速に変化していく社会環境にも視野を広げて「よりよく生きること」について掘り下げていく「生き方探究プロジェクト」の単元を設定した。

「生き方探究プロジェクト」としての単元に関わる本質的な問いを「変化が激しい社会を生き抜くために、どのような自分の将来像を描けばよいのだろうか」とし、単元を貫く問いを「自分にとってより良い生き方とはどんな生き方なのだろうか」とした。

これらの問いに対して、探究的な見方・考え方を働かせて、解が一つではない問いに対してPBLの手法を用いて生徒自身が学習過程を構成できる単元となっている。

また、生徒自身が学びを進めることによって、本校で設定している以下の育成したい資質・能力の育成を図ることをねらいとしている。

| 本校で育成する資質・能力   |   |  |
|----------------|---|--|
| 知識及び技能         |  | 課題発見力 <b>知</b><br>○既知の情報や獲得した知識・技能を適切に活用しながら次の課題を発見していく力 |
| 思考力, 判断力, 表現力等 |  | 他と関わる力 <b>関</b><br>○他者の立場や意見を受け止め、協働して課題解決に生かそうとする力      |
| 学びに向かう力, 人間性等  |  | 自ら行動する力 <b>主</b><br>○自ら気づき、考え、実行しようとする力                  |

## ◇生徒観

本学年の生徒はとても素直で、授業に対して前向きに取り組む生徒が多い。そのため、筋道があり答えが一つの課題に対しては意欲的に取り組むことができる。しかし一方で、初めてのことに對して一歩

を踏み出すのに躊躇する生徒が多い。また、新たな発想で物事を進めたり考えを組み立てたりすることに自信が持てない生徒もいる。

令和3年7月に行った学校評価アンケートにおいて、「私は、授業で解決しようとする課題について「なぜだろう」「やってみたい」と思います」という問いに対して86.8%の生徒が肯定的評価をしている。しかし、「よくあてはまる」と回答した生徒は36.6%で3分の1にとどまっている。

#### ◇指導観




指導に関しては、PBLの手法を念頭に置き、「生徒が主体的に考えたり行動したりできるようにすること」「社会とのつながりを持たせること」「他の学びとの関連性を持たせること」の3点を重視する。

まず、教師が道筋をつけるのではなく、生徒自身が疑問を持ち自ら課題を設定できるよう、テーマのみを提示する。そこに解が一つではない問いを投げかけることによって、探究のきっかけとしたい。そこで自ら計画を立て、探究方法を考え自分ならではの解を見つけることができるよう、生徒同士での活動の時間を多く設定する。

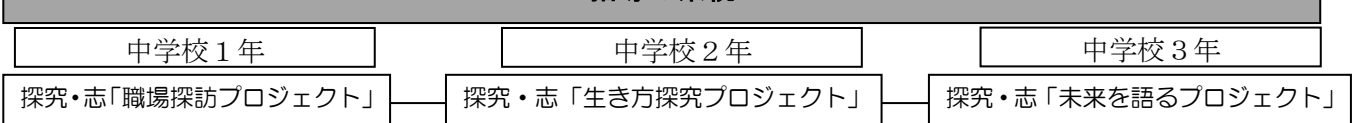
また、活動が自分たちだけの狭い視野で終わらないよう、学校外とつながるヒントを提示していく。

さらに、めあてと振り返りを関連付け、他教科や他分野との関連性に気付かせ学びに深みと広がりを持たせる。具体的には、振り返りにおいて「まとめ」と「振り返り」を意識させる。「まとめ」には本時でできたこと、わかったこと、新しく発見したことなど本時で身に付けたことを自分の言葉でまとめさせる。「振り返り」には、「まとめ」で意識できた身に付けたことを生かして「どのようなことをしてみたいか」「生活の中でどう生かせるか」「新しい疑問」などを表現させる。それにより、一連の学びに見通しを持ち、現在の学びを一般化させ社会的な意義を見出すことができるように指導したい。

これらの指導により、全校で示した生徒のアンケートにおける「私は、授業で解決しようとする課題について「なぜだろう」「やってみたい」と思います」という問いに対する「よくあてはまる」と回答する生徒を増やし、学びに向かう姿勢を高めていきたい。

|                    |   | 単元で目指す生徒の姿   |
|--------------------|---|--|
| 知識及び技能             |  | ・複数の情報を収集してそこから明らかになる生き方に関する課題を見出すことができる。  |
| 思考力<br>判断力<br>表現力等 |  | ・課題解決に向けて方法等を考え、結果等をわかりやすく相手意識をもって伝えることができる。<br>・他者の立場や意見を受け止め、協働して課題解決に生かそうとすることができる。 |
| 学びに向かう力<br>人間性等    |  | ・学習を通して身に付けた知識及び技能をふまえて、自ら決定し実行しようとすることができる。   |

#### 指導の系統



#### 単元の目標

○自分にとってのより良い生き方を考え、実現させるための具体的行動をまとめることができる。

| 知識及び技能  | 思考力, 判断力, 表現力等   | 学びに向かう力, 人間性等  |
|---|--|--|
| ・自分を見つめ、自分のよさや興味を深く掘り下げ、世の中の動きと重ね合わせて、よりよい生き方について自分なりの具体像を描く。 | ・学んだことを相手意識をもってまとめ、わかりやすく伝えることができる。<br>・中学卒業後の進路（上級学校など）について考え、調べ、情報活用能力を身に付けるとともに、自己の興味や適性にあった進路を考える。 | ・生き方について主体的に考え、自らの人生についての関心を高める。<br>・職業についての関心を高め、より良い生き方のために今できることを考えることができる。 |

## 評価規準

| ア) 課題発見力<br>(知識・技能)   | イ) 他と関わる力<br>(思考・判断・表現)                                   | ウ) 自ら行動する力<br>(主体的に学習に取り組む態度)  |
|---|---|--|
| (1)自らの進路や生き方が社会とつながっていることに気づき、自らの生き方を考えることができている。<br>(2)複数の情報を収集してそこから明らかになる課題を見出すことができている。 | (1)学習を通して身に付けた知識及び技能を活用して、課題解決に向けて方法等を考え、結果等を伝えることができている。 | (1)他者の立場や意見を受け止め、協働して課題解決に生かそうとしている。<br>(2)自分の目標に向かって自ら計画を立て、実行しようとしている。 |

## 単元計画 (全 26 時間)

|              |    |  |  |
|--------------|----|--|--|
| 単元に関わる本質的な問い |    | 変化が激しい社会を生き抜くためにどのような自分の将来像を描けばよいだろうか。 |  |
| 単元を貫く問い      |    | 自分にとってより良い生き方とはどんな生き方なのだろうか。           |  |
|              | 時間 | 内容に関わる問い                               |  |
|              |    | 生徒の学習活動                                |  |
| 課題設定         | 2  | 自分ってどんな人間だろう                           | 自分の好みや興味関心、強みを知る   |
|              | 2  | Society5.0の時代の仕事とはどんなものだろう             | 未来の仕事を考える<br>・なくなる仕事と残る仕事の違いは何か。<br>・新しくできる仕事を考えよう。<br>・新しい時代を生き抜くために必要な力を考える。                   |
| 情報収集・整理分析    | 1  | 「より良い生き方」とは、どんな生き方だろう                  | 課題設定をする<br>・「自分にとってより良い生き方」にとはどんなものかマッピングしていく。   |
|              | 7  | 自分が考える「より良い生き方」を実現させるにはどんな方法があるだろうか    | 探究コースを選択する<br>・自分が探究したい「より良い生き方コース」を選ぶ。<br>→教師がグループ分けをする。<br>・コースの中で、3~4人グループを形成する。<br>・探究計画書作成。 |
| まとめ・表現       | 10 | わかりやすく伝えるにはどうしたらよいら                    | 発表できる形にまとめる<br>プレゼン講座<br>発表できる形にまとめる<br>発表練習<br>コース内コンテスト  |
|              | 3  | 自分にとってのより良い生き方とはどんなものだろうか(本時3/3)       | 発表：より良い生き方コンテストグランプリ大会実施<br>「より良い生き方のためのわたしの3箇条」作成   |
| 振り返り         | 1  |  | まとめ(学んだこと、発見したこと)、振り返り(次への課題)  |

**本時の学習 (25 時間目 / 全 26 時間)**

◇本時の目標

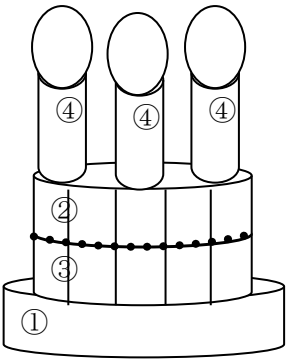
自分にとってのより良い生き方を達成するために大切なことを3つにまとめることができる。

◇育成しようとする資質能力



自ら行動する力：学習を通して身に付けた知識及び技能をふまえて、自ら決定し実行しようとする  
ことができる。

◇学習の流れ

| 学習活動  | 指導の工夫<br>指導上の留意点 (◇)<br>焦点化 (☆), 視覚化 (□), 共有化<br>(△)   | 評価規準<br>【評価方法】   |
|---|--|--|
| 1 前時までの振り返り (5分)<br>(1) グランプリ大会について<br>(2) 今までの学び<br><br>2 本時のめあての確認 (3分)   | ◇概要を思い出すことにとどめる。<br>☆周りの人と意見交換をして発表する。<br><br>めあてを確認する。  |  |
| <b>めあて わたしの「より良い生き方のための3カ条」を作成しよう。</b>  |  |  |
| 3 考えをまとめる (20分)<br>(1) より良い人生を送るために大切だと思うことをジャムボードで書きだす(3分)<br><br>(2) 「生き方コンテストグランプリ大会」及び「座談会」で心に残ったことを、班で出し合う。(3分)<br>全体で共有する① (5分)<br>(3) 書き出したものや座談会で心に残ったことの中から、自分にとって大切だと思うものベスト5を抜き出す②。点線の下に理由も書く③。(5分)<br>(4) グループで意見交換する。(4分)<br><br>4 3カ条を作成する<br>(1) 今までの意見交換の内容を踏まえ、自分にとってのより良い人生を実現させるために、自分が本当にできること、取り組むことを3カ条として書きだす。3つろうそくに書く④。(5分)<br>(2) 意見交流をする。(5分)<br><br>5 本時の振り返りをする。(5分) | ◇学びを通して考えたことをキーワードで出すように言う<br>□△モニターに映して、共有する。<br><br><br><br>△一人1分で相手を説得するつもりで、説明する。聞いている人は質問をしてもよい。<br>△納得できる意見があったら、①に付け加える(青のペンで)。<br><br>◇本時の振り返りをシートに書くよう指示する。 | 学習を通して身に付けた知識及び技能をふまえて、自ら決定し実行しようとしている。<br><b>【ウ】(1) 行動観察, ワークシート】</b> |

めざす生徒の「振り返り」

- ・まとめ：自分のより良い人生にとって大切なことをたくさん抜き出し、今までの学習を踏まえて3つに絞ることができた。
- ・今まで自分は学歴が一番大切だと思っていたが、友達の見解や座談会の話聞いて夢を持つことややることがないことに挑戦することが大切だということにも納得できた。
- ・振り返り：より良い人生のために決めた3つのことを実行できるよう、家でも書いて貼っておきたい。

「振り返り」をさせるための手立て・工夫

- ・まとめは、本時でできたこと、新しくわかったこと発見したこと、振り返りはまとめを実現させるためにはどうしたらよいかを書くように促す。
- ・どのようにして自分の生き方3カ条を作ることができたか、それを実現させるための具体的な行動を振り返りとするよう促す。

評価指標(ルーブリック)

|   | ア) 課題発見力<br>(知識・技能)  | イ) 他と関わる力<br>(思考・判断・表現)  | ウ) 自ら行動する力<br>(主体的に学習に取り組む態度)                                  |
|---|--|--|--|
| A | 複数の情報を収集して自らの進路や生き方が社会とつながっていることに気付き、自らの生き方を考え、そこから明らかになる課題を見出すことができる。 | 学習を通して身に付けた知識及び技能を活用して、課題解決に向けて方法等を考え、結果やそれに対する自分の考え等を伝えることができる。 | 他者の立場や意見を受け止め協働して課題解決をし、その内容を生かして自分の目標に向かって自ら計画を立て、実行することができる。 |
| B | 情報を収集して自らの進路や生き方が社会とつながっていることに気付き、自らの生き方を考えることができる。                    | 学習を通して身に付けた知識及び技能を活用して、課題解決に向けて方法等を考え、結果等を伝えることができる。             | 協働して課題解決をした内容を生かしながら、自分の目標に向かって自ら計画を立て、実行することができる。             |
| C | 情報を収集して、自らの生き方を考えることができる。  | 取り組んだ内容をわかりやすく伝えることができる。   | 自分の目標に向かって、実行することができる。   |

板書計画

本時のめあて わたしの「より良い生き方のための3カ条」を作成しよう

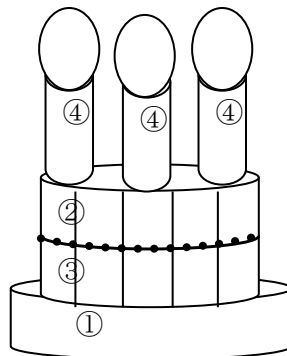
自ら行動する力

自己決定する

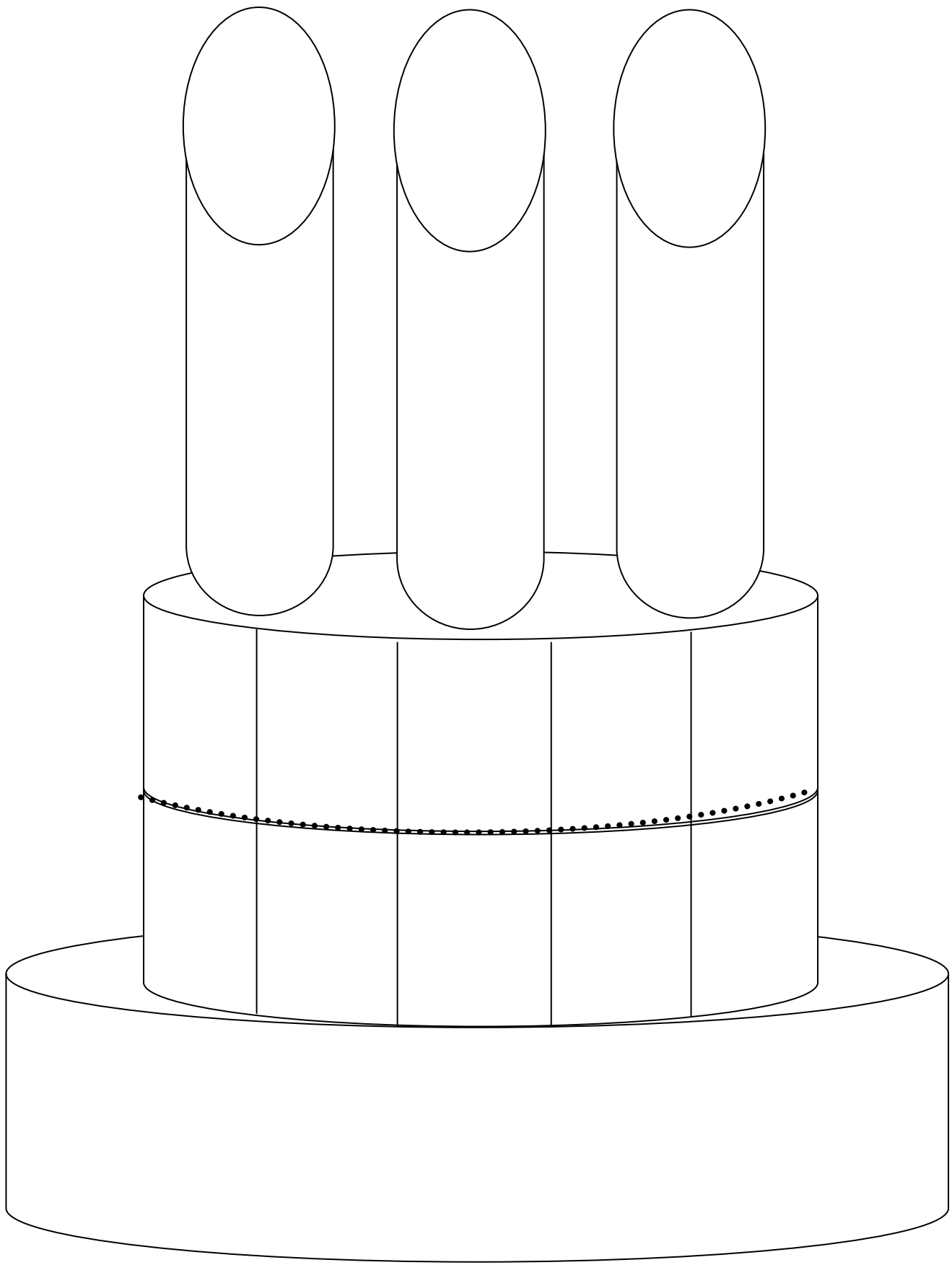
自分を知る

Society5.0 の  
時代の仕事

必要な力



心に残ったこと



|     |      |
|-----|------|
| まとめ | 振り返り |
|-----|------|

# わたしの「よい良い生き方のための3カ条」

A large, empty rectangular box with a thin black border, intended for writing the first principle. At the bottom right corner, there is a small, shaded, triangular graphic element that looks like a folded corner or a shadow.

A large, empty rectangular box with a thin black border, intended for writing the second principle. At the bottom right corner, there is a small, shaded, triangular graphic element that looks like a folded corner or a shadow.

A large, empty rectangular box with a thin black border, intended for writing the third principle. At the bottom right corner, there is a small, shaded, triangular graphic element that looks like a folded corner or a shadow.

組 番 名前

---